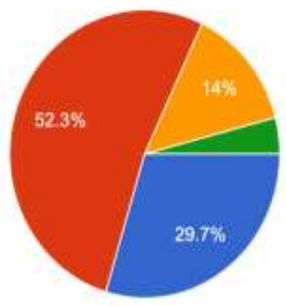
貴生川小学校５、６年生教科担任制アンケート結果について　　【前期】　　2022.8

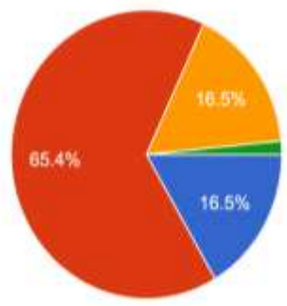
５、６年生児童

５、６年生保護者

授業にやる気を持って臨んでいる
172 件の回答

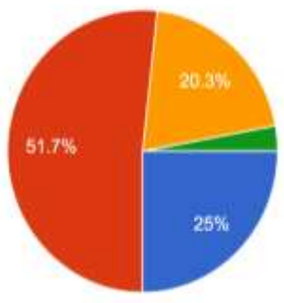


子どもは意欲的に学習に取り組んでいる
133 件の回答

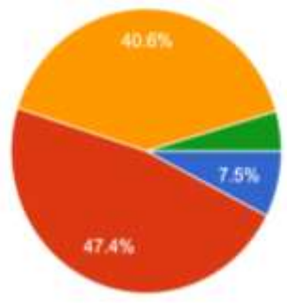


- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

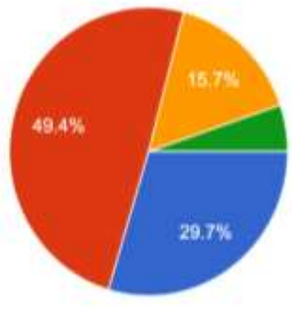
授業はよくわかる
172 件の回答



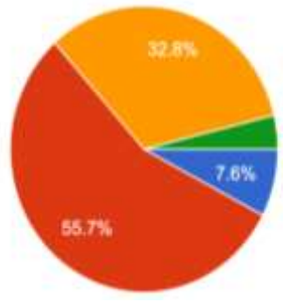
学習のことで子どもから話をすることが増えた
133 件の回答



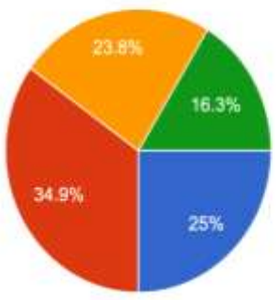
一つ一つの授業に気持ちを切り替えて臨んでいる
172 件の回答



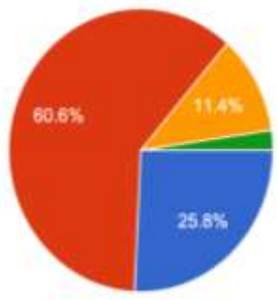
授業の切り替えにメリハリがつき、中学校への移行がスムーズになった
131 件の回答



学習や学校生活のことで相談できる先生が増えた
172 件の回答



様々な先生に関わってもらえている
132 件の回答



１　学習意欲や理解について
　意欲：児童→８２％　　理解：児童→７７％
・「苦手だった教科が得意になった、好きになった。」「授業が楽しい。」など、教科担任制により、意欲的に学ぶ児童が高い割合である。授業の進め方、説明の仕方、集中できない状況の改善など、児童個々の思いを受け止め、より意欲が高まり、理解が深まるような取り組みを各教科担当が進めていきたい。
・保護者からは「その教科が専門分野である場合は、詳しく教えてくださり、ホンモノに触れられるので、子どもも喜んでいる。」など、評価をいただいた。一方、教科担当によって指導等に温度差があり、児童の学習意欲、理解度等への影響を心配されるご意見もいただいている。教職員が授業力や指導力をより磨く意識と体制づくりを重視したい。

２　複数の教職員が関わることについて
　児童→６０％　　保護者→８６％
・「いろいろな先生と話せる、活動できる、出会える、相談できる。」「中学校の生活に慣れることができる。」と肯定的に捉える児童がいる反面、教師による指導や授業の進め方の違いに戸惑いがあったり、授業ごとに担任が入れ替わることに抵抗があったりする児童もいる。児童の多面的な理解にさらに努めるとともに、学びがいのある授業づくりに努めていきたい。
・「はじめは、担任の先生との時間が少なく、子どもとは浅い関わりになるのではないかと心配でしたが、他の先生からも報告などあるようで、よく分かってもらえてるように思う。」「様々な先生と関われることで授業の楽しさを感じられるようになったようで話す内容が増え、意欲的に取り組んでいる様子がわかる。」など、複数で多面的に子どもを理解できる教科担任制の仕組みに理解を寄せる保護者の回答が多い。
・取り組みの２年目を迎え、授業の充実がやはり重要であると改めて実感する。子どもの姿や成長をしっかり見取り、「みんなが私の先生」と子どもが感じるような存在を目指し、教科担任制のよりよいあり方を求め、マイナーチェンジしていきたい。

分析：教頭